

ISSN 0385 - 9495

東洋大学文学部紀要

第 70 集

史 学 科 篇

第 42 号

東 洋 大 学

2016

東洋大学文学部紀要
第70集
史学科篇
第42号

東洋大学

Bulletin of Toyo University

No. 70

Department of History

Faculty of Literature

No. 42

2 0 1 6

.....
Contents

Articles

The phase of the change of the provincial supervisors as seen from the other side of papers' documents in "Ishinbou" of belongings to Nakarai Family
..... MORI, KIMIYUKI (1)

Oumi-ya Ichibey Company, Manure Dealer in Osaka (4) SHIRAKAWABE, TATSUO (53)

Report

Research and Catalogue about "The Old Photographs of Meiji era"
..... IWASHITA, TETSUNORI (71)

Nine-year Programs for the Preparation for Constitutionalism of Ministries of Qing Government..... CHIBA, MASASHI (93)

Political Changes in Greece in the Years of Economic Crisis..... MURATA, NANAKO (158)

Medieval Encyclopedias and the Kingship in France..... SUZUKI, MICHIIYA (192)

Aineias the Tactician: *Siegecraft*. Introduction, translation and commentary
..... TAKABATAKE, SUMIO (230)

Miscellanea (231)
.....

Published by

Toyo University

Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

東洋大学文学部紀要

第70集

史学科篇

第42号



東洋大学

目次

論文

- 半井家本『医心方』紙背文書と国司の交替……………森 公章……………(二)
- 大坂千鯛屋近江屋市兵衛の経営(四・完)……………白川部 達夫……………(五三)
- 調査報告書 「明治期等古写真」の調査と目録編成および
写真の概要について — 古写真の保存と研究に向けて —……………岩 下 哲 典……………(七一)
- 清末における各部立案籌備立憲九ヶ年計画……………千 葉 正 史……………(九三)
- ギリシア経済危機と政治変動……………村 田 奈 々 子……………(一五八) (73)
- 中世の百科全書とフランス王権……………鈴 木 道 也……………(一九二) (39)
- アイネイアス『攻城論』……………高 畠 純 夫……………(二三〇) (1)
- 訳および註解 —……………(5)
- 彙報……………(三三二)

◎研究室の動き

◎人事

二〇一六年四月一日付

・平成二十八年年度大学院文学研究科史学専攻長に補される

大豆生田 稔

・平成二十八年年度文学部史学科学科長に補される 鈴木 道也

・文学部教授（史学科）に補される

千葉 正史

・文学部教授（史学科）に補される

岩下 哲典

・文学部准教授（史学科）に補される

西村 陽子

・文学部准教授（史学科）に補される

村田 奈々子

二〇一六年三月三十一日付

・平成二十七年年度大学院文学研究科史学専攻長を退任する

森 公章

・平成二十七年年度文学部史学科学科長を退任する 鈴木 道也

・文学部教授を退職する

高橋 継男

・文学部教授を退職する

岡本 充弘

◎史学科調査実習

・二〇一六年四月十七日 史学科の学部生を対象とした実習

を行いました。

国立歴史民俗博物館（佐倉市）

◎史学科海外文化研修

・二〇一六年九月七日～十日 史学科と文学部他学科の学生

希望者を対象とした海外文化研修を台湾で行いました。

台北市国立故宫博物院（以上、七日）、台南市孔子廟、赤崁

楼、祀典武廟、延平郡王祠（以上、八日）、高雄市立歴史博

物館、台中市東海大学訪問（以上、九日）、台北市中正紀念

堂、二二八紀念館（以上、十日）

専任教員活動報告

森 公章 教授

研究活動

○著書

・『平安時代の国司の赴任『時範記』をよむ』（臨川書店）

単著 二〇一六年四月三〇日（一～二四頁）

・『天智天皇』（吉川弘文館） 単著 二〇一六年九月一日（一～

三〇七頁）

○論文

・「郡符木簡再考」 単著 二二〇六年三月一日（昨年度未掲

載）

・『東洋大学大学院紀要』五二集（三九一～四一五頁）

・『畿内郡司の行方』 単著 二〇一六年二月一日

・『撰関期の国家と社会』（山川出版社）（二八〇～一九五頁）

- ・「半井家本『医心方』紙背文書と国司の交替」 単著
- 二〇一七年二月二八日『東洋大学文学部紀要』史学科篇四二
号（一～五二頁）
- その他
- ・『発見・検証日本の古代』Ⅰ纏向発見と邪馬台国の全貌（KADOKAWA） 白石太一郎・鈴木靖民・寺澤薫・上野誠との
共編著 二〇一六年七月一五日（二～三四八頁）
- ・『発見・検証日本の古代』古代史シンポジウム二〇一六
二〇一六年七月三〇日 紀伊國屋サザンシアター（新宿）
- ・「遣唐使とは何か、そのはじまりと交流の軌跡」JR東海第
一四九回「奈良学文化講座」二〇一六年一〇月一九日 よみ
うりホール（有楽町）
- ・『日本書紀』に記された出雲 鳥根県古代文化センター編
『古代出雲ゼミナール』Ⅲ（鳥根県・鳥根県教育委員会）
二〇一六年九月一八日（四三～五〇頁）
- ・「稲荷山鉄剣銘の衝撃／国造制、部民制、人制とは何か／天
皇の漢風諡号、和名の成立／葛城氏とは何者か／日本の氏・
姓とは何か―その違いについて」二〇一六年九月二五日 『検
証・発見日本の古代』Ⅱ騎馬文化と古代のイノベーション（K
ADOKAWA）（七〇～八四頁／八五頁／八六～八七頁／
一七五頁／二一六～二一七頁）
- ・「律令国家「日本」誕生の舞台／「大化改新」の実像／浄御原
令と天皇号の成立／大宝律令施行」 単著 二〇一六年一〇月
- 二五日 奈良文化財研究所編『飛鳥むかしむかし』国づくり
編（朝日新聞出版）（八三～九八頁）
- ・「天智天皇のことは」 単著 二〇一六年一月一日 『本郷』
二一六（一三～一五頁）
- ・「古代天皇制の成立はいつか」 単著 二〇一六年一月一〇
日 『検証・発見日本の古代』Ⅲ前方後円墳の出現と日本国
家の起源（KADOKAWA）（八〇～一〇〇頁）
- ・「日本古代史の研究と木簡」 単著 二〇一六年一月一八日
韓国木簡学会第三回国際学術大会 大韓民国大邱市慶北大学
校報告文は資料集『古代世界の文字資料と文字文化』（六六～
八〇頁）に掲載
- ・「平安中・後期の対外関係と対外政策―「遣唐使」以後を考え
る―」 単著 二〇一六年二月二日 日本史研究会古代史部
会
- ・NHK・BSプレミアム「英雄たちの選択正月SP―日本の
あけぼの・四つの始まり―」二〇一七年一月三日 コメント
（ビデオ） 出演
- 調査活動
- ・科学研究補助金基盤研究C
「郡の世界」から国衙の支配への歴史の変遷に関する基礎的研
究（研究代表者）
- 学会活動
- 白山史学会、木簡学会、史学会、日本歴史学会、日本史研究会、

大阪歴史学会、続日本紀研究会、正倉院文書研究会、条里制・
古代都市研究会、高知海南史学会、朝鮮史研究会

教育活動

- ・学内 歴史の諸問題A1、歴史の諸問題B1、日本史学特講
②、日本史料研究①、日本史学卒論演習①(学部)、日本史
学特論I、日本史学演習I、日本史学特殊研究I、日本史学
研究指導I(大学院)

社会的活動

- ・練馬区文化財審議委員
- ・大宰府史跡調査研究指導委員会委員
- ・文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員
- ・大学評価・学位授与機構学位審査会歴史部会専門委員
- ・国立歴史民俗博物館総合展示第一室リニューアル委員会委員
- ・府中市史編纂委員
- ・日本歴史学会理事・評議員
- ・大学・学部管理・運営活動
- ・大学院人文科学研究科委員
- ・出版会運営委員
- ・文学部カリキュラム検討委員会委員
- ・東洋大学井上円了記念博物館館長

神田千里 教授

研究活動

○論文

- ・ルイス・フロイスの描く織田信長像について 単著
- 二〇一六年二月『東洋大学文学部紀要』第六九集史学科篇
四一、四九～七六頁

○著書

- ・戦国と宗教 単著
- 二〇一六年九月二一日 岩波書店、二〇六頁

○学会発表

- ・白山史学会大会特別企画「織田信長像再考」座談会司会
- 二〇一六年十一月二六日 於東洋大学白山キャンパス八B
一一教室

学会活動

白山史学会(会員)・史学会(同)・日本歴史学会(理事・評
議員)・海南史学会(会員)。

教育活動

- 歴史学研究法A・B・日本史料研究・日本史概説A・B・
日本史学卒論演習(以上学部)・日本史学特論・日本史学演
習・日本史学研究指導(以上大学院)。

社会的活動

なし。

大学・学部管理・運営活動

教職課程運営委員会委員

白川部 達夫 教授

研究活動

○論文

- ・「大坂干鰯屋近江屋市兵衛の経営(三)」〔東洋大学文学部紀要〕六九集史学科四一号、二〇一六年二月二七日) 単著、七七～一〇一頁
- ・「一九世紀前半の肥料商と地域市場」〔東洋大学「東洋学研究所」五三号、二〇一六年三月) 一四五～一五六頁
- ・「世直しと土地所有意識の変容」明治維新史学会編『講座・明治維新』一〇巻(有志舎、二〇一六年一〇月二〇日) 単著、一五四～一八三頁
- その他
 - ・木村茂光・安田常雄・白川部達夫・宮瀧交二編『日本生活史辞典』(吉川弘文館、二〇一六年一月一〇日) 共編、七一〇頁 執筆項目: 言い継ぎ、公事師、公事宿、地方、出入り、村(三)、村切り、村境、村請制、村方騒動、世間師、世直し、割地
 - ・「江戸時代の古文書の読み方7、入会と村、その二」『書物學』七号(勉誠出版、二〇一六年三月三一日) 単著、六八四～七二頁

- ・「江戸時代の古文書の読み方8、入会と村、その二」『書物學』八号(勉誠出版、二〇一六年八月八日) 単著、五三～五七頁
- ・「江戸時代の古文書の読み方9、村役人」『書物學』九号(勉誠出版、二〇一六年一月一日) 単著、六七～七四頁
- 書評
 - ・小松賢司著『近世後期社会の構造と村請制』〔歴史学研究〕九四三三号、一〇一六年四月) 六一～六三頁

○研究報告

- ・「中西聡・井奥成彦編『醤油醸造業と地域の工業化－高梨兵左衛門家の研究』について、一〇一六年八月二〇日、於クラブ 関東(千代田区丸の内一―三、銀行会館一九階)
- 調査活動
 - ・文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C・一般「近世の肥料商と農業経営」研究代表者

学会活動

- ・白山史学会、関東近世史研究会(評議員)、日本古文書学会(評議員)、立正史学会(評議員)、歴史学研究会、日本史研究会、歴史科学協議会、地方史研究協議会(会員)、
- 学内
 - ・歴史の諸問題、歴史学研究法A・B、日本史史料研究、日本史学卒論演習③、卒業論文指導(以上学部) 日本史学特論Ⅲ、日本史学演習Ⅲ、日本史学研究指導Ⅲ(以上大学院)

教育活動

○学外

中央大学 日本社会経済史、日本史演習

社会的活動

○講演

「江戸幕府の旗本たち」(二〇一六年九月三〇日、茨城県龍ヶ崎市中央図書館、同市教育委員会生涯学習課)

「江戸幕府の旗本たち」(二〇一六年二〇日、於神奈川県開成町瀬戸屋敷、同町町民サービス部自治活動応援課)

○文化財

埼玉県草加市「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用

計画策定委員会委員長

大学・学部管理・運営活動

大学院文学研究科委員

岩下 哲典 教授

研究活動

○編集

・『東アジアの「秩序」を考える(報告書)』東アジアの秩序研究会と共編 二〇一六年二月二十九日 東アジアの秩序研究会 全八五頁

・『城下町と日本人の心性』「城下町と日本人の心」研究会と共編 二〇一六年三月三十一日 岩田書院 本文全四一四頁 附

録全一六頁

・『都市農村共生・対流総合対策交付金助成事業 農村・都市交流促進のための信州「たのめの里」(塩尻市北小野・辰野町小野)の食・文化・歴史の調査・研究(報告書)』二〇一六年三月三十一日 岩下哲典発行 全六六頁

○論文

・「東アジア(日・中・韓)における現世と来世の秩序について」単著 岩下哲典・東アジアの秩序研究会編『東アジアの「秩序」を考える(報告書)』二〇一六年二月二十九日 東アジアの秩序研究会 二一七頁

・「江戸城松之大廊下一件と赤穂浪人一件および関連の話題について」単著 鈴木幸彦編『平成二七年度 講演記録集』二〇一六年三月二十五日 地域おこし歴史懇話会 二一―一頁

・「外国人の旅行記等にみる日本の城郭と城下町―安土桃山期・江戸中後期・幕末期を中心に―」単著 岩下哲典・「城下町と日本人の心」研究会編『城下町と日本人の心性』二〇一六年三月三十一日 岩田書院 二七三―三〇四頁

・「幕末維新史と城郭・城下町・武士―「王城」と「王城守護」を分析の用語として―」単著 岩下哲典・「城下町と日本人の心」研究会編『城下町と日本人の心性』二〇一六年三月三十一日 岩田書院 三〇七―三三五頁

○その他

・「書評 片桐一男『知の開拓者 杉田玄白「蘭学事始」とその

時代」片桐一男解説・注記・解説『米沢藩医堀内家文書』解題編・図録編 片桐一男『伝播する蘭学 江戸・長崎から東北へ』『洋学史研究』第三三三号 二〇一六年四月 洋学史研究會 一二三〜一二八頁

・「記念講演・要旨」幕末情報社会と小栗上野介』『たつなみ』第四一号 二〇一六年八月 小栗上野介顕彰會 六〜二九頁

・「新刊の情報と紹介 片桐一男著『江戸時代の通訳官・阿蘭陀通詞の語学と実践』」『日本史の研究』二五四（歴史と地理 六九七）二〇一六年九月二〇日 山川出版社 五一〜五五頁

・「江戸時代に流行した民衆信仰『富士講』と日本人本来の心の領域」世界遺産アカデミー編集・発行『公報誌「WHA—MR」巻頭インタビュー集』二〇一六年一月一九日

○調査活動

・静岡県藤枝市岡部町松岡神社文書調査 二〇一六年八月二二〜二三日同年一月一七〜一八日

学会活動

白山史学会（常任委員）、高橋泥舟史料研究会（代表）、洋学史研究会（副会長）、洋学史学会、地方史研究協議會、日本海史学会、日本仏学史学会、名古屋郷土文化會、静岡山岡鉄舟會、日本医史学会、日本情報経営学會

教育活動

○学内「歴史の諸問題A7・B7」「歴史の諸問題A8・B8」「歴史の諸問題A9・B9」「日本史学卒論演習6」（以上学部）

「日本史学特論IV（VA・VA）」「日本史学特殊研究IV（VA・VB）」「日本史学研究指導IV（VA・VB）」「日本史学演習IV（VA・VB）」（以上大学院）

○学外

・都留文科大「国語国文学と日本史」「歴史と文化」社会的活動

○講演

・NHK BSプレミアム『英雄たちの選択』①スタジオ出演「知りすぎた男たちの挑戦 蛮社の獄 渡辺華山と高野長英の決断」（二〇一六年二月一八日放送、八月二五日再放送）、②同「幕末最強の軍をつくった男」佐賀藩主鍋島閑叟」（二〇一六年八月一八日放送、八月二五日再放送）、③VTRおよびスタジオ出演「明治維新のデザイナー 尾張藩主徳川慶勝」（二〇一六年一〇月一三日放送、一〇月二〇日再放送）

・NHKラジオ第二放送「文化講演會」黒船と日本―ペリー来航絵巻をひもとく―」（二〇一六年四月九日放送、七月二四日再放送）

・山陽放送学術文化財団主催第四回シンポジウム「岡山蘭学の群像『開国へ』幕末外交の裏舞台で奔走 箕作阮甫」基調講演「幕末の外交と箕作阮甫の役割」（二〇一六年四月一八日 山陽放送さん太ホール）

・川崎市民アカデミー 講座『世界を旅する⑮オランダ・ベルギー・ツアー』「幕末日本におけるオランダの貢献―ペリー

来航予告情報」(二〇一六年五月一八日 川崎市生涯学習プラザ)、「幕末日本におけるオランダの貢献2―長崎海軍伝習・榎本武揚」(二〇一六年六月一五日 川崎市生涯学習プラザ)
・長野県塩尻市・辰野町中学校組合立両小野中学校校区講演会「ユネスコ世界遺産と『たのめの里』のころ」(二〇一六年六月二八日 両小野中学校)

・日本仏学史学会特別講演会「江戸のナポレオン伝説―ゴロブニン事件から戊辰戦争へ」(二〇一六年九月三日 東洋大学)
・日比谷図書文化館「江戸歴史講座 「鎖国」と「開国」の実像を読み解く(全2回)」【第1回】近世日本は「鎖国」だったか」(二〇一六年十一月一七日 千代田区立日比谷図書文化館)
【第2回】「開国」とは何か―ペリー来航絵巻から」(二〇一六年十一月二四日 千代田区立日比谷図書文化館)

大学・学部管理・運営活動

・キャリア委員会委員
・出張講義 神奈川県立城郷高等学校 千葉県立芝山高等学校

大豆生田 稔 教授

研究活動

○著書

・『防長米改良と米穀検査―米穀市場の形成と産地(一八九〇年代―一九一〇年代)』、単著、日本経済評論社、二〇一六年一月、

一〇三七二頁

・『近江商人の酒造経営と北関東の地域社会―真岡市辻善兵衛家文書からみた近世・近代』、編著、岩田書院、二〇一六年五月、一〇二四七頁、執筆は「はしがき」(五〇―一頁)、第三章「酒造経営の展開」(六七―一三五頁)

○論文

・「三菱商事シアトル支店の小麦取引―一九二〇年代後半における日清製粉出張員の北米派遣―」、単著、『松山大学論集』第二八巻第四号、二〇一六年一〇月、一〇三―一二五頁

○その他(コラム)

・「近代日本の米輸入―米不足の時代」、単著、歴史教育者協議会『歴史地理教育』第八四六号、二〇一六年三月、五六―五七頁。

○調査研究活動

・日本学術振興会二〇一六年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、「戦前日本の外米輸入―米不足の構造と輸入補填(明治初年―戦時の実証的・総合的研究)」、研究代表者
・日本学術振興会二〇一六年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、「近代日本勢力圏下の市場統合と情報効率性の時変構造―内地・朝鮮米穀市場を中心に―」、研究分担者

教育活動

○学内 地域史(日本) A①―近代日本の農業・農村(一八八〇年代―一九一〇年代) 」、地域史(日本) B①―近代日本の農業・農村―(一九二〇年代―三〇年代)、歴史学研究法 A③

—歴史学研究の方法—、歴史学研究法B③—論文を読んでみよう—、日本史料研究④—日本近現代史料の講読—、日本史学卒論演習⑤—日本近現代史の卒論作成—(以上、学部)、日本史学特論V—日本近現代史の諸問題—、日本史学演習V、日本史学特殊研究V、日本史学研究指導V—日本近現代史研究—(以上、大学院)

○学外 日本史特殊講義演習ⅢA—産業化と市場(一八九〇年代)—、日本史特殊講義演習ⅣA—産業化と市場(一九〇〇年前後—一九一〇年代)—(慶応義塾大学文学研究科)

学会活動
白山史学会(常任委員)、社会経済史学会(評議員)、史学会、歴史学研究会、政治経済学・経済史学会、経営史学会、首都圏形成史研究会、同時代史研究会、日本農業史学会、日本植民地研究会(会員)

西 村 陽 子 准教授

研究活動

○論文

- ・「絲綢之路遺址之重新定位与遗址数抛庫之建立」共著、筆頭著者『陝西師範大学学报(哲学社会科学版)』第四五期第二号、二〇一六年三月、七六一—八六頁
- ・「唐後半華北諸藩鎮の鉄勒集団…沙陀系王朝成立の背景」単

著『東洋史研究』第七四卷第四号、二〇一六年三月、三二一—六九頁

・「從靈武到代北…唐後期華北藩鎮中的鉄勒、粟特、党項」単著『粟特人在中国…考古發現与出土文献的新印証(下)』二〇一六年六月、三五一—三六七頁

・「デジタル史料批判と歴史学における新発見」共著、筆頭著者『人工知能』第三一号、人工知能学会、二〇一六年一月、七六九—七七四頁

・「華北交通アーカイブ」の構築」共著、筆頭著者『華北交通写真資料集成 論考編』国書刊行会、二〇一六年一月、三六一—三七頁

・“A new method for re-identifying ancient excavated structures on the Silk Road: the case of Kocho”共著、筆頭著者 *The Ruins of Kocho: Traces of Wooden Architecture on the Ancient Silk Road*, Museum für Asiatische Kunst : Staatliche Museen zu Berlin, Dec. 2016, pp. 59-68.

○講演

- ・“Digital Criticism Platform for Evidence-based Digital Humanities with Applications to Historical Studies of Silk Road”共著 *Digital Humanities 2016*, Kraków, Jun. 2016.
- ・「華北交通アーカイブ…データベース構築と地理学的分析」単著 *東亞論壇2016*…華東師範大学学術交流会、上海、華東師範大学、二〇一六年九月三日

・「利用絲綢之路遺址數據庫比定吐魯番遺址之深化：以木頭溝遺址為例」共著、筆頭著者 “Marco Polo and the Silk Road (10th-14th Centuries)”, pp. 233-247, International Academy for China Studies, Peking University, Nov. 20, 2016.

○その他

・「華北交通アーカイブ」<http://codh.rois.ac.jp/north-china-railway/>、京都大学人文科学研究所が所蔵する華北交通の弘報用ストックフォト（華北交通写真）を華北交通が事業を行っていた交通網とリンクさせ、写真のテーマや撮影場所から華北交通の活動を明らかにする研究データベースのプロトタイプ版

・プレスリリース「戦前・戦中の中国北部の様子を伝える「華北交通アーカイブ」を公開～宣伝活動用写真と交通網データをリンクした研究データベース～」<http://www.nii.ac.jp/news/2016/1129/> 国立情報学研究所、二〇一六年一月二十九日

・「補史」から「再構築」へ…敦煌トルファン文書と中国中世史研究」榮新江著、西村陽子訳『敦煌写本研究年報』第十号（第二分冊）二〇一六年三月、二四三―二五二頁

・「漢和堂蔵「裴岑碑」旧拓考」朱玉麒著、劉怡訳、西村陽子監訳『シルクロードと近代日本の邂逅』二〇一六年三月、一五〇―一六九頁

○授賞

・陝西師範大学学报二〇一六年優秀論文賞 受賞者：西村陽子、北本朝展 二〇一六年二月

○調査活動

・日本学術振興会…科学研究費補助金若手研究（B）「地図史料批判に基づくシルクロード探険隊資料の統合と遺跡データベースの構築」（研究代表者）

・日本学術振興会…科学研究費補助金基盤研究（B）「デジタル史料批判…エビデンスベース人文情報学のための連結指向型研究基盤」（研究分担者）

○社会貢献活動

・「秘蔵写真 伝えたかった中国・華北——京都大学人文科学研究所蔵華北交通写真——」、JCIIFォトサロン・日本カメラ博物館、二〇一六年一月二十九日十二月二五日 展示協力

学會活動

白山史学会、史学会、白東史学会、唐代史研究会、情報処理学会

教育活動

「学部」歴史学研究法A・B⑤、東洋史概説、東洋史概説A・B、東洋史学演習④、東洋史学卒論演習①「大学院」東洋史学特論Ⅰ、東洋史学演習Ⅰ、東洋史学特殊研究Ⅰ、東洋史学研究指導Ⅰ

社会的活動

- ・情報処理学会 C H 研究会 運営委員
- ・人文系データベース協議会 会員
- 大学・学部管理・運営活動
- ・グローバル化推進委員
- ・史学科海外研修担当、台湾研修引率

千葉 正 史 教授

研究活動

○論文

- ・「中華民国元年五月における川漢鐵路公司株主会の国有化決議―保路運動後の四川鐵道国有化問題に関する新史料の紹介と分析―」 単著、『東洋大学文学部紀要』第六九集史学科篇第四一―四二頁、二〇一六年二月二七日、一六五―一九〇頁。
- ・「日清戦争後の漕運廃止検討過程をめぐる考察―張之洞の廃止論と盧漢鐵路建設―」 単著、高橋継男教授古稀記念東洋大学東洋史論集編集委員会編『高橋継男教授古稀記念東洋大学東洋史論集』、東洋大学文学部史学科東洋史研究室、汲古書院発売、二〇一六年三月一九日、五七一―五九八頁。

○その他

- ・公開講演会記録「満洲における中国の鐵道―清末・民国時期の京奉鐵路」 単著、『善隣』第四六五号、国際善隣協会、

二〇一六年三月一日、一〇―一七頁。

- ・「交通運輸」 単著、『中国年鑑 2016』、一般社団法人中国研究所、二〇一六年五月二七日、三四〇―三四三頁。

- ・書評「薛軼群『近代中国の電信建設と対外交渉―国際通信をめぐる多国間協調・対立関係の変容』」 単著、『中国研究月報』第七〇巻第一〇号、一般社団法人中国研究所、二〇一六年十月二五日、四〇―四一頁。

学会活動

- 白山史学会（会長（二〇一六年六月）、常任委員）、鐵道史学会（理事（二〇一六年九月）、評議員）、メトロポリタン史学会（委員）、史学会、社会経済史学会、東洋史研究会、歴史学会

教育活動

- 学内 史学概論、東洋史史料研究②、歴史学研究法 A・B⑥、東洋史学卒論演習②、日本史学卒論演習④（以上、学部）
- 東洋史学特論Ⅱ、東洋史学演習Ⅱ、東洋史学特殊研究Ⅱ、東洋史学研究指導Ⅱ（以上、大学院）
- 大学・学部管理・運営活動
- 自己点検・評価活動推進委員会委員、文学部自己点検・評価委員会委員長、アジア文化研究所運営委員

高 畠 純 夫 教授

研究活動

○訳・註解

高畠純夫「アイネイアス『攻城論』——訳および註解——
(4)」、「東洋大学文学部紀要 史学科篇」四一号、二四八(1)
——一九一(58)頁、二〇一六年二月

○論文

高畠純夫「古代ギリシアにおける戦争——重装歩兵をめぐる
二つの問題——」『世界史の研究』(山川出版社)六九六、五八
——六一頁、二〇一六年八月

学会活動

白山史学会(常任委員)、史学会(理事(編集担当)、大会実
行委員)、西洋古典学会、古代世界研究会(委員)

教育活動

○学内

地域史(西洋)、歴史学研究法、西洋史学卒論演習①(以上、
学部)、西洋史学特論Ⅰ、西洋史学特殊研究Ⅰ、西洋史学研究
指導Ⅰ、西洋史学演習Ⅰ、西洋史学研究指導Ⅰ(以上、大学院)
スロヴェニア特別講演会「ローマ都市のできた」、二〇一六
年一月

社会的活動

○講師

・NPO法人かわさき市民アカデミー4回「地中海世界の歴史
——古代編」

・東洋大学エクステンション講座「坂口安吾と現代」1回「古
代ギリシア史家の見た安吾」

大学・学部管理・運営活動

大学院文学研究科科长、体育協議会委員

鈴木 木 道 也 教授

研究活動

○論文・研究ノート

・「大学における世界史教育の現状と課題(1) 世界史学習に関
する大学生たちの意識調査」共著 二〇一六年三月『岩手県
立大学盛岡短期大学部研究論集』一八号(六五〜七一頁)

・「世界史履修に関する短大生の意識調査」共著 二〇一六年三
月『岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集』一八号(五九〜
六四頁)

・「特集《古典再読》マルク・ブロック著『封建社会』再読」単
著 二〇一六年六月三〇日『西洋史学』第二六一号(七三〜
七七頁)

○学会報告

・「Les femmes et le pouvoir politique aux XIIe-XIIIe siècles:
les principautés de la France de l'Est」パトリック・コルヌ

教授講演会コメント、二〇一六年三月一四日（於…青山学院大学）

○調査活動

・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C））（一般）「中世フランス王国の政治文化 カペー・ヴァロワ両王朝期の知識人とその作品」研究代表者

・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B））（一般）「中世ヨーロッパ世界における統治理念と社会制度の比較的統合の研究」研究分担者

学会活動

白山史学会、西洋中世学会（常任委員・事務局次長、西洋史研究会（評議員）、日本西洋史学会、史学会、東北史学会、The Medieval Chronicle Society、日仏歴史学会（会員）

教育活動

○学内 西洋史概説A、西洋史概説B、西洋史学特講④、西洋史史料研究②、西洋史学卒論演習②（以上、学部）、西洋史学特論ⅡA、西洋史学特論ⅡB、西洋史学演習ⅡA、西洋史学演習ⅡB、西洋史学研究指導ⅡA、西洋史学研究指導ⅡB、西洋史学特殊研究ⅡA、西洋史学特殊研究ⅡB（以上、大学院）

○学外 駒澤大学（非常勤講師） 外国史各説

社会的活動
・全国歴史教育研究会埼玉県大会指導助言者（「歴史的思考力を育む授業および査査・評価のあり方を考える」）

・NHK文化センター青山教室講師（「中世ヨーロッパ社会と現代社会」文化と歴史）

・放送大学埼玉学習センター面接授業講師（「中世ヨーロッパ社会と写本文化」）

・大垣市かがやき市民講座講師、館林市分福公民館公開講座講師（「世界遺産を考える」）

大学・学部管理・運営活動

・学科長

村田 奈々子 准教授

研究活動

○論文

・「近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタン——ヨーロッパの才能のひとつのかたち」、単著、『子どもと発育発達』第一三巻四号、二〇一六年一月一日、二五一～二五五頁

・「近代オリンピックの始まり——普遍的理念とナショナルリズムのせめぎ合い」、単著、橋場弦・村田奈々子編『学問としてのオリンピック』山川出版社、二〇一六年七月二〇日、一九五～二四二頁

○研究会発表

・「低迷するギリシアの現状」『一橋地中海研究会』於…一橋大

学 二〇一六年一〇月二日

○調査活動

- ・日本学術振興会二〇一六年度科学研究費補助金（基盤研究（A））、「地中海世界における市民の危機対応とグローバル・ネットワーク」研究分担者（研究代表者：大月康弘（一橋大学））

学会活動

- 白山史学会、日本西洋史学会、史学会、日本中東学会、日本政治学会、地中海学会、東欧史研究会（編集委員）

教育活動

- 学内 歴史の諸問題A B、歴史学研究A B、西洋史学演習、西洋史学卒論演習、歴史学基礎演習、歴史学研究法A B（以上、学部） 西洋史学演習Ⅲ、西洋史学特論Ⅲ、文献研究（以上、大学院）

社会的活動

○雑文

- ・「ギリシャとヨーロッパを隔てるもの——ギリシャ発ユーロ危機を歴史から読み解く」『學士会会報』九一六号、五二―五五頁
- ・『デーリー東北』「私見創見」欄に二〇一五年一月―二月に五週に一回（計九回）エッセイ寄稿

○講演

- ・「ギリシアからみた現在のヨーロッパ」一般社団法人日本交通協会主催 於…新国際ビル日本交通協会（有楽町）、二〇一六

年四月一五日

- ・「道を開く勇氣」青森県立八戸高等学校主催文化講演会 於…青森県立八戸高等学校、二〇一六年九月二三日
- 大学・学部・管理活動
- 入試委員、ホームページ委員

後 藤 はる美 講師

研究活動

○論文

- ・「ヨーロッパのなかの礫岩——一七世紀イングランド・スコットランドの法の合同論」古谷大輔・近藤和彦編『礫岩のようなヨーロッパ』山川出版社、二〇一六年、一五八―一七一頁
- ・「アイルランド陰謀事件と革命の記憶」道重一郎編『英国を知る』同学社、二〇一六年、一三―三二頁
- ・〔翻訳〕H・G・ケーニヒスバーク「複合国家・代表議会・アメリカ革命」古谷大輔・近藤和彦『礫岩のようなヨーロッパ』山川出版社、二〇一六年、二六―五四頁
- 国際セミナー
- ・企画画「A Conglomerate Europe: Rethinking the Early Modern European States」於ケンブリッジ大学シドニ・サセックス学寮、二〇一六年八月一七―一八日
- 研究プロジェクト

・研究代表者、科学研究費補助金（若手B）「王政復古期イギリスにおける臣民と市民」（二〇一三～二〇一六年度）

・研究分担者、科学研究費補助金（基盤B）「歴史的ヨーロッパにおける複合政体のダイナミズムに関する国際比較研究」（研究代表者・古谷大輔〔大阪大学〕、二〇一三～二〇一六年度）

・研究分担者、科学研究費補助金（基盤B）「コスモポリタニズムと秩序形成」（研究代表者・勝田俊輔〔東京大学〕、二〇一四～二〇一七年度）

学会活動

白山史学会、史学会、西洋史学会、都市史学会

教育活動

学内 英語 I B ⑤⑥⑦、西洋史学史料研究③、西洋史学卒論演習④

スロベニア・リュブリャーナ大学短期海外研修引率（二〇一七年二～三月）

学外 国際基督教大学（非常勤講師） 西洋史 I

日本女子大学大学院（非常勤講師） 西洋西洋史特殊研究Ⅲ

2（西洋近代史特論）

大学・学部・管理活動

外国語委員、予算委員

植野 真澄 助教

研究活動

○論文

・「現代日本におけるミリタリー・カルチャーの計量的分析」

共著（吉田純・ミリタリー・カルチャー研究会（高橋三郎、

島田真杉、伊藤公雄、高橋由典、吉田純、新田光子、河野仁、

植野真澄）、「社会システム研究」一九、京都大学大学院人間・

環境学研究科社会システム研究刊行会、二〇一六年三月

○史料紹介等

・「空襲被災者運動関連資料目録1」共著（大岡聡、植野真澄、

山辺昌彦、赤澤史朗、松田英里）、政治経済研究所付属東京大

空襲・戦災資料センター戦争災害研究室、二〇一六年三月

・「空襲被災者運動関連資料目録2」共著（大岡聡、植野真澄、

山辺昌彦、赤澤史朗、松田英里）政治経済研究所付属東京大

空襲・戦災資料センター戦争災害研究室、二〇一六年九月

・「博物館実習を終えて…二〇一五年度博物館実習報告」単著、

『東洋大学博物館学年報』二八、二〇一六年三月

○学会報告

・「白衣募金者の実態調査に見る傷痍軍人の戦後」社会事業史学

会第四四回大会自由論題報告（石巻専修大学）、二〇一六年五

月一四日

○調査活動

- ・「近代日本の傷痍軍人の実態に関する歴史学的基礎研究」 科研費若手研究 (B)、研究代表者
- ・「戦後都市社会における空襲被災者運動の歴史学的研究」 科研費基礎研究 (C)、研究分担者
- ・「現代日本における軍事文化に関する社会学的基礎研究」 科研費基礎研究 (B)、研究分担者

学会活動

白山史学会、社会事業史学会、同時代史学会、軍事史学会、日本史研究会、史学会 (いずれも会員)

教育活動

(学内) 博物館概論、博物館資料論、博物館展示論、博物館実習Ⅱ、日本史学演習 (通年)

(学外) (日本映画大学) 博物館概論、博物館展示論

大学・学部管理・運営活動

東洋大学井上円了記念博物館運営委員会委員

二〇一六年度文学部史学科講義題目

歴史学入門

日本史概説―A・B 日本における中世の成立と統一政権の出現―

教授 鈴木道也

東洋史概説―A・B 中国古代文明の成立から唐宋王朝まで―

教授 神田千里

西洋史概説―A・B 春学期・中世ヨーロッパ社会の基本構造

准教授 西村陽子

秋学期・フランスのアイデンティティ―映画でたどるフランス史―

歴史学研究法①―A・B 史料・文献に親しむ―

教授 鈴木道也

同 ②―A・B 歴史学への招待及び日本近世古文書史料の解読―

教授 神田千里

同 ③―A・B 歴史学研究の方法―

教授 白川部達夫

同 ⑤―A・B 歴史学研究入門（東洋史、中国前近代史）…中国史の研究手法―

准教授 大豆生田稔

同 ⑥―A・B 歴史学とはどのような学問なのか、その基礎的方法を学ぼう―

教授 西村陽子

同 ⑦―A・B レポートを書いてみる―

教授 千葉正史

同 ⑧―A・B 歴史研究の方法論を学ぶ―

教授 高島純夫

日本史史料研究①―日本古代史の史料読解方法を学ぶ―

准教授 村田奈々子

同 ②―中世史料・論文を読む―

教授 森公章

同 ③―近世村落文書を読む―

教授 神田千里

同 ④―日本近現代史史料の講読―

教授 白川部達夫

教授 大豆生田稔

東洋史史料研究①—アラビア語史料の英訳の講読—	講師(兼)柴山滋
同 ②—中国史関連文献史料の基礎学習—	教授千葉正史
西洋史史料研究①—アテナイ法廷弁論の世界—	教授高島純夫
同 ②—中世ヨーロッパの史料を読み、考え、理解する—	教授鈴木道也
同 ③—近代ヨーロッパの史料を読み、考え、理解する—	講師後藤はる美
史学概論—歴史学とは何かを、東アジアを中心に見た史学史の展開過程より考察する—	教授千葉正史
日本史学卒論演習①—日本古代史の研究方法—	教授森公章
同 ②—日本中世史の諸問題—	教授神田千里
同 ③—近世史の諸問題—	教授白川部達夫
同 ④—日本近現代史の卒論作成指導—	教授千葉正史
同 ⑤—日本近現代史の卒論作成—	教授大豆生田稔
同 ⑥—幕末維新史および近世・近代の国際政治関係や画像史料の諸問題—	教授岩下哲典
東洋史学卒論演習①—中国前近代史卒論作成—	准教授西村陽子
同 ②—東アジア近世・近現代史の卒論作成指導—	教授千葉正史
同 ③—アジア史の諸問題—	講師(兼)栗山保之
西洋史学卒論演習①—卒業論文作成—	教授高島純夫
同 ②—中世ヨーロッパ史の卒論を書くために—	教授鈴木道也
同 ③—ヨーロッパ近現代史研究—	准教授村田奈々子

同	④—ヨーロッパ近世史専攻のための卒論作成法—	講師	後藤 はる美
日本史学演習①	『日本書紀』推古紀と舒明紀の講読—	講師(兼)	酒 寄 雅 志
同	②—撰関期の史料を読む—	講師(兼)	有 富 純 也
同	③—『吾妻鏡』講読—	講師(兼)	高 橋 典 幸
同	④—十四—十六世紀日本・琉球の対外関係—	講師(兼)	中 島 敬
同	⑤—江戸の町触をよむ—	講師(兼)	松 本 劍 志 郎
同	⑥—『会津藩家世実紀』を読む—	講師(兼)	小 池 進
同	⑦—近現代日本の史料を読み活用する—	講師(兼)	中 村 崇 高
同	⑧—昭和陸軍の軌跡—	講師(兼)	渡 辺 新
同	⑨—昭和前期の政治と社会を最新の文献をもとに読み解く—	講師(兼)	内 藤 一 成
同	⑩—近世—近代のくずし字史料の読解—	講師(兼)	井 奥 成 彦
同	⑪—近現代日本史に関する史料調査の方法の修得と実践—	助 教	植 野 真 澄
東洋史学演習①	南アジア史の特質—	講師(兼)	石 川 寛
同	②—	本 年 度 休 講	
同	③—中国古代史研究に必要な漢文史料読解の方法を学ぶ—	講師(兼)	鈴 木 直 美
同	④—『旧唐書』本紀の講読—	准教授	西 村 陽 子
同	⑤—清朝文献史料の研究—	講師(兼)	石 橋 崇 雄
同	⑥—アジア史の諸問題—	講師(兼)	栗 山 保 之
西洋史学演習①	初期ハスモン朝の研究—	講師(兼)	三 津 間 康 幸

同	②	英語で読む古代ローマ史―	講師(兼) 松原俊文
同	③	ビザンツの歴史と歴史叙述―	講師(兼) 都甲裕文
同	④	歴史と社会理論―	講師(兼) 猪刈由紀
同	⑤	近世ヨーロッパ史演習―	講師(兼) 坂野正則
同	⑥	十八世紀イギリスにおける政治文化―	講師(兼) 正木慶介
同	⑦	近現代ギリシア史からヨーロッパ史を学ぶ―	准教授 村田奈々子
日本史学特講①	①	古代寺院の成立と展開―	講師(兼) 岡本東三
同	②	地方豪族の歴史を探究する―	教授 森公章
同	③	日本古代の神話と神祇祭祀―	講師(兼) 有富純也
同	④	天下一統―	講師(兼) 柴裕之
同	⑤		講師(兼) 細川重男
同	⑥	近世都市論―	講師(兼) 松本劍志郎
同	⑦	近世社会の成立と展開―	講師(兼) 落合功
同	⑧	近現代史の諸問題―軍隊・徴兵制・史料論・アーカイブズ―	講師(兼) 中村崇高
同	⑨	論壇から戦後を読み解く―	講師(兼) 渡辺新
東洋史学特講①	①		本年度休講
同	②	アジアにおける訴訟の比較史 ―一三世紀中国の訴訟社会を基点として―	講師(兼) 石川重雄
同	③	宋代軍事制度の問題と軍隊改革―	講師(兼) 大室智人

同 ④

同 ⑤

同 ⑥

同 ⑦—初期イスラーム史の概観—

西洋史学特講①—新アッシリア帝国からアルシヤク朝時代にかけてのオリエント史—

同 ②—ローマ社会史研究の最前線—

同 ③—ビザンツ史入門—

同 ④—中世ヨーロッパ社会と写本文化—

—前近代のメディアとコミュニケーション—

同 ⑤—近世フランスの宗教と社会—

同 ⑥—Politics in British society, 1760-1832—

同 ⑦—中央ヨーロッパから見る二十世紀の歴史—

古文書学Ⅰ A・B —古代・中世の古文書の様式を学ぶ—

古文書学Ⅱ A・B —江戸時代の村落古文書の構造を知る。実際の古文書を読む。—

法制史（日本） A・B—植民地における法と慣習—

法制史（東洋） A・B—伝統中国法の発達とその特徴—

法制史（西洋） A・B—【春学期】ヨーロッパにおける法の誕生と発展

【秋学期】ヨーロッパ近代法体系の確立—

考古学研究 —日本考古学を学ぶ—

本年度休講

本年度休講

本年度休講

講師（兼）柴山 滋

講師（兼）三津間 康幸

講師（兼）井上 秀太郎

講師（兼）都 甲 裕文

教授 鈴木 木道也

講師（兼）坂野 正則

講師（兼）正木 慶介

講師（兼）篠原 琢

講師（兼）池田 美千子

講師（兼）斉藤 司

講師（兼）後藤 武秀

講師（兼）後藤 武秀

講師（兼）後藤 武秀

講師（兼）後藤 武秀

講師（兼）周 圓

講師（兼）田中英司

自然誌 A ①	水の自然誌〜自然・環境・生命・文明のかかわり〜	講師(兼)	清田佳美
自然誌 B ①	水の自然誌〜水の関わる自然現象と人類の利用について〜	講師(兼)	金子有子
自然誌 A ②	植物の自然誌	講師(兼)	金子有子
自然誌 B ②	日本列島の自然誌	講師(兼)	金子有子
自然誌 A ③	水の自然誌	講師(兼)	金子有子
自然誌 B ③	水の自然誌	講師(兼)	金子有子
博物館概論(秋学期)	水の関わる自然現象と人類の利用について	助教	植野真澄
博物館学各論		本	年度休講
博物館展示論(秋学期)		助教	植野真澄
博物館実習Ⅰ①	文献・民俗資料の取扱と模擬展示	講師(兼)	龍澤潤
博物館実習Ⅰ②		本	年度休講
博物館実習Ⅰ③	考古資料を中心とした歴史資料の整理実習	講師(兼)	久野雅司
博物館実習Ⅰ④		本	年度休講
博物館実習Ⅱ(春学期)		助教	植野真澄
博物館資料保存論(秋学期)	資料修復・保存の基本	講師(兼)	土肥孝
卒業論文		教授	鈴木道也

二〇一六年度大学院文学研究科史学専攻講義題目

〔博士前期課程〕

日本史学特論Ⅰ―日本古代史の諸問題―	教授	森	公章
日本史学特論ⅠA・B―日本古代史の諸問題―	教授	森	公章
日本史学特論Ⅱ―戦国大名論の現在と課題―	教授	神田	千里
日本史学特論ⅡA―戦国大名論の現在―	教授	神田	千里
日本史学特論ⅡB―戦国大名論の課題―	教授	神田	千里
日本史学特論Ⅲ―日本近世の民衆と権力―	教授	白川部	達夫
日本史学特論ⅢA・B―日本近世の民衆と権力―	教授	白川部	達夫
日本史学特論Ⅳ―幕末日本の情報と政治の研究―	教授	岩下	哲典
日本史学特論ⅣA―幕末日本の情報―	教授	岩下	哲典
日本史学特論ⅣB―幕末日本の政治―	教授	岩下	哲典
日本史学特論Ⅴ―日本近現代史の諸問題―	教授	大豆生田	稔
日本史学特論ⅤA・B―日本近現代史の諸問題―	教授	大豆生田	稔
日本史学演習Ⅰ―日本古代史の基本史料を読む―	教授	森	公章
日本史学演習ⅠA・B―日本古代史の基本史料を読む―	教授	森	公章
日本史学演習Ⅱ―中世の記録を読む―	教授	神田	千里
日本史学演習ⅡA・B―中世の記録を読む―	教授	神田	千里
日本史学演習Ⅲ―近世の国家と社会―	教授	白川部	達夫

- 日本史学演習Ⅲ A・B―近世の国家と社会―
 日本史学演習Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―
 日本史学演習Ⅳ A・B―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―
 日本史学演習Ⅴ―日本近現代史研究―
 日本史学演習Ⅴ A・B―日本近現代史研究―
 東洋史学特論Ⅰ―中国唐代史料の講読―
 東洋史学特論Ⅰ A・B―中国唐代史料の解説・検討―
 東洋史学特論Ⅱ―近現代中国政治体制の再編と統合の変容―
 東洋史学特論Ⅱ A―近代中国政治体制の再編と統合の変容―
 東洋史学特論Ⅱ B―二十世紀中国政治体制の再編と統合の変容―
 東洋史学特論Ⅲ
 東洋史学演習Ⅰ―中国唐代諸史料の検討―
 東洋史学特論Ⅰ A・B―中国唐代諸史料の検討―
 東洋史学特論Ⅱ―清末中国における近代化過程の検討―
 東洋史学特論Ⅱ A・B―清末中国における近代化過程の検討―
 東洋史学特論Ⅲ
 西洋史学特論Ⅰ―古代ギリシア・ローマ史研究―
 西洋史学特論Ⅰ A・B―古代ギリシア・ローマ史研究―
 西洋史学特論Ⅱ―中近世ヨーロッパ研究の「古典」を読み直す―
- 教授 白川部 達夫
 教授 岩下 哲典
 教授 岩下 哲典
 教授 大豆生田 稔
 教授 大豆生田 稔
 准教授 西村 陽子
 准教授 西村 陽子
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 准教授 西村 陽子
 准教授 西村 陽子
 本 年度 休講
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 千葉 正史
 教授 高 島 純 夫
 教授 高 島 純 夫
 教授 高 島 純 夫
 教授 高 島 純 夫
 教授 鈴木 道也

西洋史学特論Ⅱ A・B—中近世ヨーロッパ研究の「古典」を読み直す—

西洋史学特論Ⅲ—ヨーロッパ近代史の歴史叙述—

西洋史学特論Ⅲ A・B—ヨーロッパ近代史の歴史叙述—

西洋史学演習Ⅰ—古代ギリシア史料研究—

西洋史学演習Ⅰ A・B—古代ギリシア史料研究—

西洋史学演習Ⅱ—中近世ヨーロッパ史研究指導—

西洋史学演習Ⅱ A・B—中近世ヨーロッパ史研究方法論—

西洋史学演習Ⅲ—近代史の諸問題—

西洋史学演習Ⅲ A・B—近代史の諸問題—

考古学特論—日本考古学の諸問題—

考古学特論 A・B—日本考古学の諸問題—

文献研究 (日本)—明治維新史—

文献研究 (日本) A・B—明治維新史—

文献研究 (東洋)—東アジア史の文献を読む—

文献研究 (東洋) A・B—東アジア史の文献を読む—

文献研究 (西洋)—Reading Historical Sources from Ancient to Modern Times—

教授 鈴木道也

准教授 村田奈々子

准教授 村田奈々子

教授 高島純夫

教授 高島純夫

教授 鈴木道也

教授 鈴木道也

准教授 村田奈々子

准教授 村田奈々子

講師(兼) 土肥孝

講師(兼) 土肥孝

講師(兼) 松尾正人

講師(兼) 松尾正人

講師(兼) 趙景達

講師(兼) 趙景達

教授 高島純夫

教授 鈴木道也

准教授 村田奈々子

文献研究(西洋) A・B—Reading Historical Sources from Ancient to Modern Times—

教授 高 畠 純 夫

教授 鈴 木 道 也

准教授 村 田 奈々子

史料管理学

国文学研究資料館における研修

(集中講義形式)

日本史学研究指導Ⅰ—日本古代史を専攻する者に対する修士論文作成のための研究指導— 教授 森 公 章

日本史学研究指導ⅠA・B

—日本古代史を専攻する者に対する修士論文作成のための研究指導—

日本史学研究指導Ⅱ—日本中世史の諸問題— 教授 森 公 章

日本史学研究指導ⅡA・B—日本中世史の諸問題— 教授 神 田 千 里

日本史学研究指導Ⅲ—近世の国家と社会— 教授 神 田 千 里

日本史学研究指導ⅢA・B—近世の国家と社会— 教授 白 川 部 達 夫

日本史学研究指導Ⅳ—近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究— 教授 白 川 部 達 夫

日本史学研究指導ⅣA・B—近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究— 教授 岩 下 哲 典

日本史学研究指導Ⅴ—日本近現代史研究— 教授 岩 下 哲 典

日本史学研究指導ⅤA・B—日本近現代史研究— 教授 大 豆 生 田 稔

東洋史学研究指導Ⅰ 教授 大 豆 生 田 稔

東洋史学研究指導ⅠA・B 准教授 西 村 陽 子

東洋史学研究指導Ⅱ―東洋史学研究指導― 教授 千葉正史

東洋史学研究指導ⅡA・B―東洋史学研究指導― 教授 千葉正史

東洋史学研究指導Ⅲ 本年 年度休講

西洋史学研究指導Ⅰ―西洋古代史研究指導― 教授 高島純夫

西洋史学研究指導ⅠA・B―西洋古代史研究指導― 教授 高島純夫

西洋史学研究指導Ⅱ―中近世ヨーロッパ史研究指導― 教授 鈴木道也

西洋史学研究指導ⅡA・B―中近世ヨーロッパ史研究指導― 教授 鈴木道也

西洋史学研究指導Ⅲ―近現代史の諸問題― 准教授 村田奈々子

西洋史学研究指導ⅢA・B―近現代史の諸問題― 准教授 村田奈々子

〔博士後期課程〕

日本史学特殊研究Ⅰ―日本古代史の基本史料を読む― 教授 森 公章

日本史学特殊研究ⅠA・B―日本古代史の基本史料を読む― 教授 森 公章

日本史学特殊研究Ⅱ―中世の記録を読む― 教授 神田千里

日本史学特殊研究ⅡA・B―中世の記録を読む― 教授 神田千里

日本史学特殊研究Ⅲ―近世の国家と社会― 教授 白川部 達夫

日本史学特殊研究ⅢA・B―近世の国家と社会― 教授 白川部 達夫

日本史学特殊研究Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究― 教授 岩下 哲典

日本史学特殊研究ⅣA・B―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究― 教授 岩下 哲典

日本史学特殊研究Ⅴ―日本近現代史研究―	教授	大豆生田	稔
日本史学特殊研究ⅤA・B―日本近現代史研究―	教授	大豆生田	稔
東洋史学特殊研究Ⅰ―中国唐代諸史料の検討―	准教授	西村陽子	
東洋史学特殊研究ⅠA・B―中国唐代諸史料の検討―	准教授	西村陽子	
東洋史学特殊研究Ⅱ―清末中国における近代化過程の検討―	教授	千葉正史	
東洋史学特殊研究ⅡA・B―清末中国における近代化過程の検討―	教授	千葉正史	
東洋史学特殊研究Ⅲ	本	年度	休講
西洋史学特殊研究Ⅰ―古代ギリシア史料研究―	教授	高島純夫	
西洋史学特殊研究ⅠA・B―古代ギリシア史料研究―	教授	高島純夫	
西洋史学特殊研究Ⅱ―中近世ヨーロッパ史研究方法論―	教授	鈴木道也	
西洋史学特殊研究ⅡA・B―中近世ヨーロッパ史研究方法論―	教授	鈴木道也	
西洋史学特殊研究Ⅲ―近現代史の諸問題―	准教授	村田奈々子	
西洋史学特殊研究ⅢA・B―近現代史の諸問題―	准教授	村田奈々子	
日本史学研究指導Ⅰ―日本古代史を専攻する者に対する博士論文作成のための研究指導―	教授	森公章	
日本史学研究指導ⅠA・B―	教授	森公章	
日本古代史を専攻する者に対する博士論文作成のための研究指導―	教授	森公章	
日本史学研究指導Ⅱ―日本中世史の諸問題―	教授	神田千里	
日本史学研究指導ⅡA・B―日本中世史の諸問題―	教授	神田千里	
日本史学研究指導Ⅲ―近世の国家と社会―	教授	白川部達夫	

日本史学研究指導Ⅲ A・B―近世の国家と社会―	教授	白川部 達夫
日本史学研究指導Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩下 哲典
日本史学特殊研究Ⅳ A・B―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩下 哲典
日本史学研究指導Ⅴ―日本近代史研究―	教授	大豆生田 稔
日本史学研究指導Ⅴ A・B―日本近代史研究―	教授	大豆生田 稔
東洋史学研究指導Ⅰ―博士論文作成に向けて―	准教授	西村 陽子
東洋史学研究指導Ⅰ A・B―博士論文作成に向けて―	准教授	西村 陽子
東洋史学研究指導Ⅱ―東洋史学研究指導―	教授	西村 陽子
東洋史学研究指導Ⅱ A・B―東洋史学研究指導―	教授	西村 陽子
東洋史学研究指導Ⅲ	教授	千葉 正史
東洋史学研究指導Ⅲ	教授	千葉 正史
西洋史学研究指導Ⅰ―西洋古代史研究指導―	教授	本年度 休講
西洋史学研究指導Ⅰ A・B―西洋古代史研究指導―	教授	高島 純夫
西洋史学研究指導Ⅱ―中近世ヨーロッパ史研究指導―	教授	高島 純夫
西洋史学研究指導Ⅱ A・B―中近世ヨーロッパ史研究指導―	教授	高島 純夫
西洋史学研究指導Ⅲ―近代史の諸問題―	教授	鈴木 木道也
西洋史学研究指導Ⅲ A・B―近代史の諸問題―	教授	鈴木 木道也
西洋史学研究指導Ⅲ A・B―近代史の諸問題―	准教授	村田 奈々子
西洋史学研究指導Ⅲ A・B―近代史の諸問題―	准教授	村田 奈々子

二〇一六年度卒業論文題目

〔日本史学専攻コース〕

平安宮清涼殿の研究	川崎朋香	享徳の乱について	松井智
太子建立寺院と聖徳太子信仰	神谷拓巳	戦国期の房絵	菅野拓己
平安時代における大学寮の変遷	児玉恵実	戦国大名領国における徳政	毛海崇典
平安時代の婚姻儀礼の変遷	関仁美	駿河国葛山氏について	越川崇典
継体天皇の研究	石原昂輝	世阿弥の生涯	森田絵里花
平安貴族の邸宅について	神木誠	近世浦賀における干鯛取引	井上萌
呪符木簡と信仰	岡田真緒	近世における行倒死体処理についての一考察	菅野名扇
古代怨霊思想の研究	樋口響	近世新河岸川舟運について	後藤遥
奈良・平安時代における疫病流行とその政治的影響について	竹原克哉	近世伊丹における酒造業の展開	石川菜津季
戦国期における京都の復興と変貌	新井知樹	会津藩における郷頭制の変遷	伊藤拓哉
武田氏の信濃侵攻	長田拓磨	近世房絵半島牧場の馬医牧士について	佐藤まり英
戦国大名家における女性の役割	高橋香	近世関東における醤油醸造業についての考察	本橋孝介
源頼朝と関東の武士たち	山口満里奈	嘉永三年の江戸湾巡見について	井上大貴
治承・寿永の内乱について	石塚萌	東海道宿駅における助郷争論の研究	清水さやか
イエズス会宣教師から見た織田信長	沢中雅哉	安政江戸地震における江戸城の被害と修復	山崎祐樹
長篠合戦について	岩間涼夏	近世武州における炭生産と村落の変容	伊藤翼
中世の徳政について	高橋和裕	渋沢栄一と埼玉県の地域経済	阿部倉怜
戦国時代の主従関係について	松永菜	戦後日本の再軍備とメディア	本間峻太
織田政権期の四国情勢	若田明日香	明治期における「史談会」の活動	岡部光隆
		一九六〇年代〜七〇年代の「アパレル産業と若者文化	石島庸貴
		三多摩移管問題と都制編入運動	大木真未
			坂本拓真

一九一〇年代末の物価騰貴と埼玉県
日本プロレタリア文学運動における『文芸戦線』

鈴木雅浩

—「ひのきしん」を中心に—

吉岡誠仁

明治後期における中等教育の拡充
高度経済成長期における信用金庫

大田朋佳

戦後補償問題と現状—台湾への補償問題を中心に—

天明航太

明治・大正期における旧長岡藩士の動向

久保田宗一郎

五十五年体制下の安保改定論争の考察

村井惇平

一九三〇年代における農山漁村経済更生運動像
戦後高木惣吉の戦争指導論

清水慎也

戦後の綿紡織業の展開と今治タオル産業
戦前期の神社政策

丸山絵梨花

大正後期の宮中危機

土田徹

群馬県製糸業と富岡製糸場の設立
近代演劇界における松井須磨子の活躍

磯貝龍観

—宮中某重大事件への対応を中心に—

鈴木健

国家との関係からみた日本仏教の海外布教
石原莞爾の「最終戦争論」と日蓮主義

山口茉結華

立憲民政党の党・政権運営

只野和也

日本鉄道第一区線の経路選定—東京地区の起点の決定—

浅野奏多

南洋群島における衛生事業

千葉響

横浜線の複線化と沿線地域の変化について

原田茂栄輝

埼玉県の学童疎開受入れ体制と引率教師

中野智子

中央線の高度経済成長期における輸送力増強について

野田哲司

日豪貿易紛争と豪州メディア

内田将人

国策としての競馬から大衆娯楽としての競馬へ

川口翔大

高度経済成長期における野田市の工業化

萩原史弥

乳製品の普及による近現代の食文化への影響

涌井淳平

戦時下の民衆意識

土田直人

〔東洋史学専攻コース〕

吉田晃啓

足尾鉍毒事件における民衆運動—田中正造と谷中村を軸に—

岡野聖人

秦末の民衆反乱について

阪上清香

日清・日露戦争期における徴兵制と徴兵忌避

本田信幸

北魏王朝の胡漢融和政策について

藤井新

尖閣諸島の領有権問題の形成

川名巨輝

匈奴と漢の国際関係

脇田悠馬

近代におけるフィリピンへの移住

鈴木圭哉

唐・宋期の科挙と社会関係

野田悠馬

湘南地域における海水浴の発達と鉄道

稲葉寛人

アジア太平洋戦争期における天理教の戦争協力

三山海

唐代における冊封体制と外交儀礼
 元朝の中国支配について
 清代における纏足文化と女性
 ムスリムの食文化
 オスマン帝国とイギリス

小原菜月
 前田憲佑
 堀田千尋
 小野田布望
 宮本元太

キリスト教と異教世界
 十九世紀ドイツとグリム童話
 中世西洋における神判
 中世ヨーロッパにおける騎士の実像
 中世キリスト教信仰と聖像
 中世キリスト教世界における死と民衆

笠間順平
 今井美香
 雨宮夏菜海
 中田航貴
 中村百花
 有光智生
 高橋佑太
 山本大暉
 芳原風美
 古関志生
 高橋友麻
 塚本友麻
 荒武真伍
 森崎美佳
 鷺谷史皓
 山村友也
 柳理奈

〔西洋史学専攻コース〕

後期ローマにおける教会の役割
 イギリスにおける紅茶文化の発展について
 中世キリスト教社会におけるマイノリティ
 東方キリスト教世界におけるイコン
 中世後期フランスにおける王権の変容
 アル・アンダルス期イベリア半島におけるキリスト教徒
 十字軍思想の源流
 中世キリスト教における死生観
 イエルサレム王国建国以降のフランクとイスラーム
 ゴシック大聖堂と中世社会
 中世ヨーロッパの巡礼と民衆
 中世西洋における戦闘技術の変遷
 中世ドイツにおける手工業者の都市生活
 ルネサンス期ヨーロッパの築城術と戦術

小林雅隆
 柿木美裕紀
 内山祥子
 新井美紗稀
 稲垣侑弥
 尾上竣
 鈴木茉緒
 鈴木茉緒
 高野橋滉太
 青木謙
 岡本若奈
 小川陸実
 塚本啓太
 高橋美樹
 小林泰斗

近代イギリスにおける福祉とボランティア
 十六世紀スペインの新大陸征服事業
 ナチ支配下におけるユダヤ人問題
 近代ヨーロッパにおける服飾と女性
 イギリス帝国と食文化
 十九世紀ヨーロッパの音楽と社会
 マリー・アントワネットとメデア
 プロイセン警察からナチ親衛隊へ
 ウィンストン・チャーチルと帝国主義思想
 近代ヨーロッパにおけるジブシー
 二〇一六年度修士論文題目
 平安前期における行政監察制度の研究

高橋佑太
 山本大暉
 芳原風美
 古関志生
 高橋友麻
 塚本友麻
 荒武真伍
 森崎美佳
 鷺谷史皓
 山村友也
 柳理奈
 上野雄也

執筆者紹介

森 公章 文学部教授

白川部達夫 文学部教授

岩下 哲典 文学部教授

千葉 正史 文学部教授

村田奈々子 文学部准教授

鈴木 道也 文学部教授

高島 純夫 文学部教授

東洋大学文学部紀要 第70集

史学科篇第42号

二〇一七年二月二四日 印刷

二〇一七年二月二七日 発行

〔非売品〕

編集者 東洋大学文学部史学科研究室

発行所 東 洋 大 学

東京都文京区白山五―二八―二〇

制作 共立印刷株式会社

東京都杉並区和田一―一四―二三